

英語 I	1 年・前期	2 単位	准教授 三沢 幸子
科目カテゴリー	人としての教養	科目ナンバリング	31310201

1. 授業のねらい・概要

英語を用いて必要な情報収集とコミュニケーションができる能力を養い、国際社会において自分の意見を表現する手段を身につけ、グローバルな考え方および豊かな人間性を育むことを目的とする。

2. 到達目標

1. 英語を用いてコミュニケーションする楽しさを知る。
2. 英語のリズムとアクセント、発音、フレージングを学び、通じる英語力を身につける。
3. 専門英語を学ぶための基礎を作る。
4. 国際社会に積極的に参加できる能力を養う。

3. 授業の進め方

状況に応じたコミュニケーション能力を身につけるための会話練習、英文を読み取る力を身につけるためのリーディングを行う。また日本人向けにデザインされた発音トレーニング教材を用いて、通じる英語に必要なアクセント、発音、フレージングを学び、同時にこれらを身につけて英語のヒアリングやリーディングの助けとする。英語が流暢に口に出せる練習を行い、リスニングでは英語のリズムを体感し、理解される英語の話し方を学ぶ。

4. 授業計画

1. ガイダンス／リーディング：比較の表現	9. リーディング：出来事を伝える／発音練習（6）
2. 会話：あいさつ・電話応対／発音練習（1）	10. 会話：遺憾の意を表する／発音練習（7）
3. リーディング：叙述文／発音練習（2）	11. 会話：場所の表現／発音練習（8）
4. 会話：時間と日時／発音練習（3）	12. 会話：食事／発音練習（9）
5. リーディングとリスニング：英語のリズムを学ぶ	13. 会話：道順／発音練習（10）
6. 会話：依頼する、受諾する、断る／発音練習（4）	14. 会話：交通手段／発音練習（11）
7. リーディング：行動の表現／発音練習（5）	15. リーディング：気持ちの表現／まとめ
8. 会話：ショッピング／リスニング	

5. 成績評価の方法・基準

定期試験 60%，課題 20%，積極的な授業参加度 20%。

6. テキスト・参考文献

教材は第一回と第二回の講義時に配布する。

7. 準備学習に必要な時間、又はそれに準じる程度の具体的な内容

次回の講義で学習する箇所を最低でも 30 分かけて読んでおくこと。意味や発音のわからない単語を、きちんと調べておくこと。学習した会話を最低 30 分間友人と練習すること。

8. 受講上の留意事項（先修条件がある場合は 8. に記入する）

配布教材（A3）をファイルするためのバインダーを用意すること。積極的にペアワークを行い、活発に発言して、英語を話すことに挑戦すること。

英和・和英辞書（電子辞書など）は必ず準備し、講義には携帯する。スマホの使用は認めない。

9. 課題に対するフィードバックの方法

採点し、返却する。返却時に正答を伝え、講評を述べる。

10. 卒業認定・学位授与の方針と当該科目との関連

必修科目であり、修得できない場合進級不可となる。